

# 2014年東京都知事選挙における候補者マニフェストのできばえチェック表【学生版】

基本項目	詳細項目	配点	候補者名	候補者名	候補者名	候補者名
			宇都宮 健児	田母神 俊雄	細川護熙	舛添 要一
①理念	ありたい姿があるか	10	5.83	5.50	5.50	6.50
	ありたい姿を目指す理由が示されているか					
	地域の課題を踏まえた内容になっているか					
②政策の一貫性	政策が体系化されているか	10	7.33	6.83	6.67	7.00
	矛盾する政策がないか					
	地域事情にあった政策があるか					
③政策の具体性	政策が具体的な内容になっているか	20	12.17	9.17	9.00	10.67
	政策の内容は、実行可能なものか					
	政策の達成度の事後検証は可能か					
④市民起 点度	読みやすい工夫がされているか	10	5.33	4.50	2.33	3.67
	マニフェストを周知するための工夫がされているか					
	マニフェストに市民の声を取りこむ努力をしたか					
計		50	30.66	26.00	23.50	27.84
100点に換算		100	61.32	52.00	47.00	55.68
コメント		4名の中では最もボリュームがあり、政策に真面目に取り組む姿勢はうかがう事が出来る。ただし、非常に広い範囲を網羅しようとしているためか、詳細な内容については詰められていない印象を受ける。また、予算がかかりそうな政策が散見される中で、もう少し財源の問題についても触れていく必要がある。		自身の経験を活かし、防災強化については理由なども含めてある程度具体的に書かれている。ただし、防災以外の分野では、他候補にも言えることではあるが、抽象論の羅列になっていることも否めないであろう。	原発・エネルギーを中心に、目指す姿をある程度表している。その理由や数値目標なども一部で示すなど一定の具体性がある。一方で、都民が関心を持つと思われるいわゆる重要政策と呼ばれるものでも、ほとんど触れられていないものがあるなど、課題も多くある。	目指す姿はある程度伝わるが、それを目指す理由が少ないのが非常に残念である。一部に数値目標や新しい組織などの導入を示しており、評価できるが、一方で非常に抽象的なものもみられる。

10点……条件を満たしている

条件を満たす割合に応じて0点～10点で配点(11段階)

(例)条件の8割程度満たしている:8点

条件の3割程度満たしている:3点、等

0点……条件を満たしていない

※「③政策の具体性・実現可能性」は2倍の配点

※学生による視点として、早稲田大学大学院公共経営研究科生 複数名によるチェックを行い、その平均点を得点として記載した